

清流大川

羽地中学校
学校だより 96 号
せいりゅうおおかわ
H30.10.1

地区陸上大会を終えて

特別寄稿
監督 山川 先生



第45回国頭地区陸上大会は共通男子3000mを皮切りに始まりました。
羽地中は、男子1種目、女子18種目に出場し、入賞者が10種目、表彰者が9種目、男子総合5位、女子総合8位、男女総合5位という結果で終えることができました。

キャプテンであるK君が「総合優勝する」という宣言から始まった選手団は、夏休みの朝早くから多くの生徒の参加で練習を行うことができました。
夏休みは3年生を中心に体の動きづくりから各種目に分かれての練習まで、充実した練習をすることができました。

ときにはきついメニューを求め、厳しく鍛えたこともありましたが、みんなよく頑張ってくれたと思います。
夏休み明け、選手を選考してから練習は多くの困難が待ち受けていました。
種目が重なり思うように練習ができない、本番が近づくと緊張してうまくいかなくなる、モチベーションが上がらぬ練習に向かえない、怪我に苦しむなど、1人1人がさまざまな課題をもって練習していたと思います。時に私は、きつい言葉をぶつけたり、冷たい態度をとったりもしましたが、大会を終えた選手の充実した表情を見てると



監督として悩む中で3ヶ月でしたが、頑張ってきた良きなと感じました。
大会当日は、太陽が一日中降り注ぐ炎天下の中で行われました。そのなかで、成果を出した選手もいれば、うまくいかなかった選手もあり、様



々でしたが、1人1人が持てる限りの力を振り絞って戦ったと思います。
特に男子共通Aパート(3年生男子)のリレーでは、最後のまで記録が思うように伸びず、苦しんでいました。最後の最後、結果をだしてくれました。また、女子共通砲丸投げでNさんが庄巻の2連覇を成し遂げ、女子2年800mではYさんが意地の3位に入るなど、自己記録や上位入賞者がたくさん出て、すごく充実した大会だったのではないかと思います。
選手が走る時、みんなで乗り出して、声をかけている姿を見たときに、羽地中学校の選手たちがチームになる瞬間を見ることができました。応援団も、どの学校にも負けないくらい声を出してくれて、選手団と応援団が一丸となって応援できました。



からこの総合5位だったと思います。
応援団の皆さん、応援ありがとうございました。
大会当日だけでなく、夏休みの練習から選手を支えてくれたマネージャーの皆さんにも感謝しています。
皆さんにとっても感謝しています。当たり前のように冷たい水があり、熱中症対策をやってくれて、今年は救急車を呼ばずに選手が全力で練習できたのも、マネージャーのおかげだと思います。ありがとうございました。

ここである選手を紹介します。
キャプテンのY君です。彼は、羽地中学校陸上部の選手団のキャプテンでした。ですが、選手選考の結果、試合に出ることは叶いませんでした。ですが、彼は選手発表の次の日も朝練習に参加し、他のメンバーがだらだらとした雰囲気の中で、一人黙々と練習をされていました。
大会当日もテントの中の選手達を鼓舞し続け、盛り上げていました。
仲間の支援を必死に行うその姿に、チームがどれだけ救われたでしょう。感謝の気持ちです。
へっつぐ

